

# 多機能カメラセンサーによるデータ活用実証実験（岡崎スマートコミュニティ推進協議会）

## ■ 都市課題

- ・更新を見据えたカメラセンサー高付加価値化
- ・長期の駅工事中、工事後も利便性の維持向上
- ・駅近隣の車流密度最適化、駐車場課題

## ■ 解決方策

- ・簡便、柔軟な多機能カメラセンサー実証
- ・取得データの課題解決への活用実証
- ・既存更新・実装に向けた課題整理

## ■ K P I

- ・実証カメラカウント人数 6,000人
- ・データ活用まちづくり課題 3課題
- ・イベント来場客増加率 1.1倍

## ■ 実証実験の概要・目的

更新を控えたカメラセンサーの高付加価値化、長期にわたるの駅工事中や工事後も利便性を維持向上を見据え、必要追加機能の技術実証を行いつつ、そこから取得されるデータを課題解決に活用する実証を行う。本実証は、本市における課題解決のみならず、他自治体での「データ取得を試行してみたい」というニーズに気軽に応えられる素材の提供に繋がり、スマートシティの裾野を広げる副次効果が期待される。

## ■ 実証実験の内容

**可動カメラセンサー  
簡便利用実証**



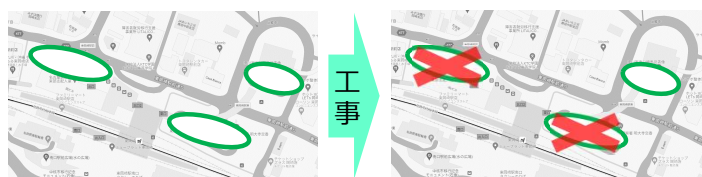
仮設スマホで人流・車流のデータを簡便に取得

**固定カメラセンサー  
柔軟利用実証**



カメラ画角や取得範囲を遠隔で任意設定可能

### 交通広場の混雑課題への対応実証



一般車用スペース減→影響推計・暫定対応・効果測定

### 駐車場課題への対応実証



イベント時に近隣商業施設の駐車場利用が増→利用状況把握・対策検討

更新・実装に向けた課題整理

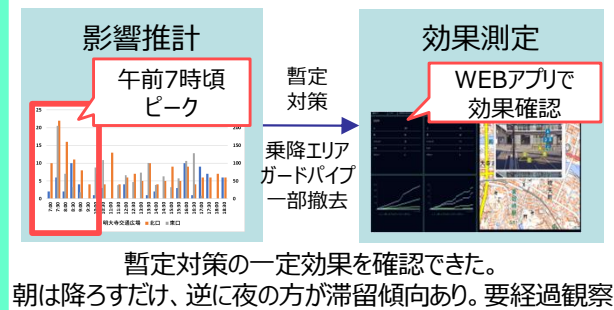
## ■ 実証実験で得られた成果・知見

### 【カメラセンサー技術実証】

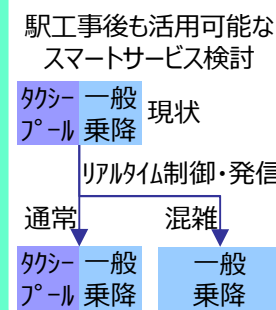
- 可動：仮設スマホで簡便なデータ取得、閲覧が可能な、安価システムの安定稼働を確認できた。
- 固定：遠隔で柔軟にカメラ方向を制御できるシステムの安定稼働を確認できた。
- 共通：1台で複数箇所のデータ取得範囲を直観的操作で設定でき、人流車流同時計測を確認できた。

### 【取得データ活用実証】

#### 交通広場の混雑課題①



#### 交通広場の混雑課題②



#### 駐車場課題



### 【実装に向けた課題整理】

都市経営ダッシュボード連携 ・ オープンデータ化 ・ 更新予定のカメラ拡大配置検討

## ■ 今後の予定

R6 プレ実装（実装に向けた課題対応）

R7 実装（他用途開発と合わせて）